

局長会議報告事例

2. 中国財務局管内企業における人材確保等に向けた取組について（事例①）

賃上げ・人材確保に向けた、生産・物流拠点の整備や積極的な福利厚生施策の実施

株式会社エフピコ

(本店) 広島県福山市
(資本金) 131億5千万円
(従業員数) 962名
(業種) その他製造

(企業概要)

食品トレー容器において国内シェア30%を誇る国内最大手。全国に工場を有し、自社グループで製造・物流・販売・リサイクルのインフラネットワークを構築。



生産工場・ハブセンターの新設

- 兵庫県内に新工場を建設し、令和5年3月から全面稼働開始。
- これまで、関西地方への製品出荷は広島県福山市から行っていたところ、本工場から直接出荷が可能となり、運搬距離が大幅に短縮。
- 配送時間短縮、物流コストの抑制、近畿地域への製品の安定供給が図られるほか、最新の自動仕分け設備を導入による作業効率化を実現。



兵庫県小野市に建設した新工場



物流の2024年問題（長時間労働抑制によるドライバー不足）へも対応

- 生産性の向上、賃上げ原資確保
- 運搬トラックの運転時間短縮による労働環境改善
→ 安定的なドライバー確保につなげる
(運搬は主に協力運送会社へ委託)

職員の福利厚生の充実

- 製造会社の有給休暇日数を10日増加(令和5年4月より)
- 育児のための時短勤務期間を延長(令和5年4月より)
(子供が小学校入学まで→小学3年生まで)
- 新工場建設にあたり、近隣に単身者用住宅を整備し、若手職員の生活を支援

- 人材確保・定着に向けた社員の待遇改善
- 社員定着率の向上 (令和3年度は98.0%を達成)

賃上げの状況

- 令和5年4月より、当社グループの製造会社・物流会社における現場社員の給与水準について大幅な引き上げ(平均+10.7%)を実施するほか、大学卒と高校卒の初任給についても17,000~23,000円の引き上げ。

今後の展開

- 引き続き、物流網構築による生産性向上に取り組むとともに、働きがいのある職場環境を提供することで社員のエンゲージメントを高め、提供する製品・サービスの品質向上によりグループのさらなる成長に努める。

2. 中国財務局管内企業における人材確保等に向けた取組について（事例②）

「社員は家族」を掲げ企業風土を醸成、社員満足度と生産性をともに向上させる取組

株式会社オーザック

(本店) 広島県福山市
(資本金) 30百万円
(従業員数) 42名
(業種) 金属加工業

(企業概要)

ワイヤロープ用ロープ端末金具や産業機械用吊り具等の設計・製造販売。委託加工だけでなく、自社製品のブランド化を進め、海外展開も狙う。



デジタル吊り具「橋長の脚」

- ・現副社長の岡崎穂穂氏は、政府の「働き方改革実現会議（平成28~30年）」において、中小企業で唯一有識者に任命（当時は専務取締役）。
- ・積極的に働き方改革を進めるとともに経営者の意識改革にも取り組む。



社員は家族。社員が安心して働ける環境でこそ、周囲の方へ感動や幸せを提供できる。 ~岡崎副社長~

社員満足度向上に向けた取組

テレワーク環境の整備

- コロナ禍前から、社員の多様なライフスタイルに対応するためテレワーク環境を整備しており、コロナ禍においても、業務を円滑に継続。
- 事務作業のオンライン化を進め、完全在宅勤務ができる態勢も構築し、離職を防止。
- 現在は、事務部門の社員18名の半数が日常的にテレワークを活用。

パート⇄正社員の柔軟な転換

- 社員のワークライフバランスの変化（子育てのため一定期間家庭を優先させたい、など）に対応できるよう、一時的に正社員からパート社員へ転換を可能に。
- 同一労働同一賃金を適用するなど、待遇面での差異は無し。



完全在宅勤務を行っている社員
福山市（本社）⇄広島市（自宅）



CAD/CAMによるデジタル設計・加工

生産性向上に向けた取組

会社の未来のイメージを共有

- 5か年中期経営計画を社内でも共有、個人目標に落とし込み。
- 計画達成・収益アップした場合、社員に還元することを明確化し、個人の目標達成が会社の成長と自身の生活の向上（賃上げ）に直結させることで、社員のモチベーションがアップ。

自分で考える社員の育成

- 現場社員からの改善提案策を積極的に採用し、生産性を落とすことなく完全週休2日制の導入を達成。

DXの推進、作業の最適化

- 社員による日中の設計プログラム作業+機械による夜間の自動加工作業により、24時間切れ目のない生産体制。
- CAD/CAMによる作業の効率化・標準化。

2. 新規事業等に対する企業の取組状況（取組事例）

ミニマムモビリティによる移動の最適化で脱炭素社会を実現し、ワクワクで希望ある明日を作る

KGモーターズ株式会社

(本 社) 広島県東広島市 (業種) 自動車
(資本金) 1.1億円 (企業概要)
※資本準備金含む 超小型EVの製造・
(従業員数) 5名 販売、シェアリング



・2018年に開設したYouTubeチャンネルは登録者数19.3万人（2023年10月現在）。
・2021年11月、Google Japanが選ぶ（世界に影響を与える）クリエイター101人
に選ばれる。



事業の歩み

- 2018年3月
個人YouTubeチャンネル「くっすんガレージ」開設
- 2020年5月
小型EVプロジェクト開始
- 2022年1月
東京オートサロン2022にて「T-BOX」発表
- 2022年7月
KGモーターズ株式会社設立**
- 2023年1月
東京オートサロン2023にて「ミニマムモビリティコンセプト」発表
- 2023年3月
プレシードラウンドにて1億円調達
- 2023年7月
シードラウンドにて1.5億円調達
※事業初期段階の資金調達ステージ
- 2024年
モニター実証実験予定
- 2025年
量産販売開始を目指す

YouTubeを活用したPR戦略が「人」と「人」を繋ぐ

成功も失敗も、当社の歩みのありのままを動画で伝え、「思想」を世界に発信

開設当初はバイクのカスタマイズ動画などを配信
➢ 面白いこと、ワクワクすることをやりたい、が原点



趣味性の高い遊び心あるこだわりのEVを自作
➢ 一部大きく注目されたものの採算面等に課題



市場調査を重ね、コンセプトを見直し
➢ 「社会課題解決」のビジョンが明確化
➢ 1人乗り・短距離・低コスト・低環境負荷なEVというコンセプト



EVの開発過程を随時公開
➢ メディアに数多く取り上げられることで知名度アップ



スタートアップにとって高いハードルである「人材集め」と「サプライヤー開拓」にYouTubeが大きく貢献

- 副業的に事業を支援するプロジェクトメンバー（設計、量産管理、デザイン等の技術者）40人を採用
- 大手自動車サプライヤーに車体開発の協力を依頼し、合意いただく
- 実証実験の事前モニターを5,800件獲得
- YouTubeチャンネルの視聴により、当社の思想に共感するステークホルダーが自然に集まる仕組み

+ 日常のちょっとした移動にワクワク感を！

**将来的な事業ビジョン
「超小型EV」×「自動運転」による移動の最適化**



[写真・資料提供：KGモーターズ]